

# 大阪実業教育協会要覧

(令和元年5月)

## 大阪実業教育協会

〒535-0001 大阪市旭区太子橋3-1-32  
大阪府立淀川工科高等学校内

電話・FAX (06) 6955-5657

URL : <http://osaka-jikkyou.sakura.ne.jp>

E-mail : [osaka-jikkyou@biscuit.ocn.ne.jp](mailto:osaka-jikkyou@biscuit.ocn.ne.jp)

## 歴代の会長

初代	阿部 房次郎	(昭和10年～11年)
第二代	小倉 正 恆	(昭和11年～21年)
第三代	小畑 源之助	(昭和22年～31年)
第四代	田中 良 雄	(昭和32年～38年)
第五代	日向 方 齊	(昭和39年～59年)
第六代	松下 正 治	(昭和60年～平成4年)
第七代	瀧澤 三 郎	(平成5年～11年)
第八代	川上 哲 郎	(平成12年～18年)
第九代	津村 準 二	(平成19年～26年)
第十代	岡野 幸 義	(平成27年～28年)
第十一代	坂元 龍 三	(平成29年～ )

## 歴代の理事長

初代	小畑 源之助	(昭和10年～21年)
第二代	田中 良 雄	(昭和22年～31年)
第三代	日向 方 齊	(昭和32年～38年)
第四代	松下 正 治	(昭和39年～45年)
第五代	小畑 千 秋	(昭和46年～平成4年)
第六代	藤井 浩	(平成5年～16年)
第七代	勝永 鎮 夫	(平成17年～18年)
第八代	馬場 良 一	(平成19年～26年)
第九代	矢野 邦 男	(平成27年～27年)
第十代	種田 祐 士	(平成28年～28年)
第十一代	賀須井 良 有	(平成29年～ )

# 1 要 覧

## 協会の設立趣旨・沿革・使命

大阪府内の実業高等学校は現在、商・工・農・家庭・福祉等を通じて 54 校、生徒数約 3 万人弱を擁し、その教育のあり方は直接関西産業界の盛衰に、ひいては日本国家の進運にも影響をもたらすのであります。

本会は昭和 9 年、我が国実業教育制度が布かれて 50 周年を機会に、実業教育の振興、とりわけ、中等実業学校の内容の充実改善を目的として、大阪府・市当局の大きな期待の下に、この道に深い理解ある小倉正恒、弘世助太郎、阿部房次郎、小畑源之助等、有力実業家が発起人となり、公私立中等実業学校長に呼びかけて昭和 10 年 11 月 1 日設立されたものであります。

もともと本会の狙いは、実業家・教育者及び教育行政当局の緊密な協力により、実業教育を実際化し、その職務に忠実な知・情・意のバランスのとれた真に役立つ人物の養成に資すところであり、徒らに論議に墮することなく是と信ずる所は直ちに実施するという行き方で着々事業を進めてまいりました。

特に、教育者の見聞を広めその資質の向上を図るために、本会々員が関係工場その他諸施設を開放して見学実習に供し、なお進んでは海外視察の機会を提供する等によって多大の効果を収めてきたのであります。

とりわけ、戦後国の復興と発展を願って、経済発展の基礎である産業教育の振興を図るため、関係者の献身的な努力の結果、産業教育振興法が制定されたのは注目すべきことであります。

事後、人的・物的条件が逐次改善・充実し、今日に至っております。

なお、産業教育の実践にあたっては、単に学校教育の狭い枠内でのみ考えることなく、広く社会特に産業界の要望を取り入れ、その協力の下に推進されるべきであると考えております。

本会はこのような趣旨により、設立以来実業家・教育者・教育行政当局のいわゆる三位が一体となって、長年産業教育に微力を尽くしてまいりましたが、更にその使命の重大さを自覚し、産業教育を通じて我が国の経済発展に貢献し得る有為な国民の育成に資するため、今後一層の精進を致したいと存じております。

また、平成 22 年度に会則の一部を改正し、これまで推薦入試など高大連携にご尽力賜っていただきました関係の大学に本協会の「大学会員」への参画をお願いいたしました。趣旨に賛同のうえ入会していただくことになった 11 大学には、今後さらに産業教育の一層の充実に向けて様々なご支援をいただくこととなりました。

## 2 事業の概要

昭和 10 年設立以来各種の事業を実施して実績をあげてきました。次に比較的近年におけるその事業の概要について略記します。

### 1 視察・見学研究会の開催

主として学校教職員を対象に、海外ならびに府内および全国各地の会社・工場・研究機関等の視察見学を実施し、つねに進展やまなない産業界の実情を知見できるよう務めています。

(1) 本協会研修派遣費による教員の派遣

ア 海外産業教育視察員の派遣（合計 127 名）（昭和 40 年度から実施）

年度	人数	国内	年度	人数	国内
昭和 40	7 名	欧、米、メキシコ	58	4 名	欧
42	2 名	欧、米	59	4 名	欧
43	1 名	米	60	4 名	欧
44	2 名	欧、米	61	4 名	欧
45	2 名	米	62	4 名	欧
46	2 名	欧	63	4 名	欧
47	4 名	豪、ニュージーランド	平成 1	4 名	欧
48	3 名	欧	2	4 名	欧
49	4 名	欧	3	4 名	欧
50	3 名	欧、米、ソ連	4	4 名	欧
51	5 名	欧	5	4 名	欧
52	5 名	欧	6	4 名	欧
53	4 名	欧	7	3 名	欧
54	6 名	中国	8	3 名	欧
55	4 名	欧	9	4 名	欧
56	4 名	欧	10	3 名	欧
57	4 名	欧	11	4 名	欧

※ 海外派遣研修事業は社会的な経済状況により、平成 12 年度より景気回復のめどがつかず中止する。

イ 国内産業教育研修員の派遣（昭和 51 年度から実施）

年度	名数	派遣先	研修テーマ
平成 18	3 名	埼玉県	県立越谷総合技術高等学校、県立深谷商業高等学校、県立熊谷農業高等学校 第 18 回全国産業教育フェアが平成 20 年度、大阪で開催されるに当たり、上記高等学校の取り組み状況と専門高校の特色ある教育内容また就職・進学対策等について学び、専門高校の教育実践に役立てる。
19	3 名	静岡県	県立沼津技術専門学校、静岡工科自動車大学校、県立沼津工業高等学校 第 18 回全国産業教育フェアが平成 20 年度、大阪で開催されるが並行して開催される、高校生ものづくりコンテスト全国大会を見学し、各分野の実施状況を学び、専門高校の発展と大会の成功に役立てる。
20	3 名	東京都	教育ソリューションフェア、都立橘高校 学習指導要領の改訂を見据えて、新学習指導要領がめざす目的や教育改革の流れを研鑽。また、実業教育において産業科を設置し、キャリア教育の先進高校の概要並びに実践を知り今後の大阪の実業教育の進むべき方策に役立てる。
21	3 名	神奈川県	東京電力横浜火力発電所、東京ガス環境エネルギー館、横浜開港 150 周年記念「開国博 Y150」 環境を重視した最新のものづくり技術や環境教育関連施設等を視察。この成果を校内はじめ関係高等学校に報告することにより、大阪府産業教育の一層の充実を図る。
22	3 名	神奈川県 東京都	横浜市立サイエンスフロンティア高等学校、川崎市観光協会連合会、 (株)JTB 能力開発 先進的な教育に取り組む学校を視察し、今後の学校経営に生かす。地域活性化の役割を担う観光とものづくり産業とのかかわりについて視察し、産業教育に役立てる。 企業の人材育成について見聞を広め、生徒の進路指導に役立てる。

23	3名	長崎県	長崎大学、長崎工業高等学校、三菱重工業(株)長崎造船所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な教育に取り組む学校を視察し、今後の学校経営に活かす。</li> <li>・造船とものづくり産業とのかかわりについて視察し、ものづくりを支える工学力教育の拠点形成の展開を学び、今後の産業教育に役立てる。</li> <li>・企業や大学の人材育成について見聞を広め、生徒の進路指導に役立てる。</li> </ul>
24	3名	岡山県	岡山県立岡山工業高等学校 岡山県立岡山東商業高等学校 岡山リサーチパーク インキュベーションセンター <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職・進学ともに力点を置き、特色ある先進的な教育に取り組む学校を視察し、今後の学校経営に役立たせる。</li> <li>・地域企業の活性化と新事業開拓にチャレンジする企業への支援を目的とする施設や支援方法等を視察し、府内産業教育の充実を図る。</li> </ul>
25	3名	福岡県	福岡県立小倉工業高等学校、TOTO小倉第1工場、北九州エコタウン(リサイクル工場、風力発電)、響灘バイオトープ、太陽光発電、新日鐵住金八幡製鐵所、安川電機開発研究所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内2番目に創立された伝統校であるが、先進的な特色ある教育に取り組む学校を視察し、今後の学校経営に活かす。</li> <li>・北九州市は産業の発展のために地域と企業が連携し、ものづくりに取り組んでいる。また、環境問題やエネルギーの効率化にも力を入れている。このような施設や企業の視察をして、大阪府の産業教育の一層の充実を図る。</li> </ul>
26	3名	東京都 静岡県	東京都立大田桜台高等学校、静岡県立掛川工業高等学校、富士通株式会社 川崎工場 富士通テクノロジーホール、資生堂企業資料館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学型専門高等学校でグローバル化するビジネス社会で活躍できるスペシャリストの育成を目指す学校を視察し、今後の学校経営に活かす。</li> <li>・学科改編を進め、特色ある工業高校として、50年の伝統を引き継ぎ社会の流れに対応できる産業教育を目指している。90%の加入率の部活動と「知的財産教育」の推進校として現在進めている。</li> <li>・情報機器を3つのゾーン(プレゼンテーションゾーン、今と未来のゾーン、歴史ゾーン)に分けられたところを見学し、ICT関係の理解と、今後の産業教育へ活かすことができる。</li> <li>・化粧品メーカーとして、商品の製造だけでなく、広告やパッケージデザインにもこだわり、若い芸術家を登用させて育てるという取り組みは、芸術分野への社会貢献が理解できた。</li> </ul>
27	3名	福岡県 熊本県	県立三池工業高校、大牟田市石炭産業科学館、三井化学(株)大牟田工場、万田坑を視察。三池工業高校は、各学科が特色ある教育活動を展開し、進路面では多くの卒業生が県外の企業や大学に進み、また企業訪問では石炭産業から石油化学への時代へと移行行く内容や、メガネレンズなど主要製品の説明、入社試験に関する心構え、企業と学校を結ぶ企業間連携のインターンシップ等を見聞し、学校現場に生かせる有意義な研修視察であった。
28	3名	富山県	朝日印刷株式会社、富山県立高岡工芸高等学校、富山県立高岡商業高等学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日印刷株式会社は、1872(明治5)年に小澤活版所として創業し、1960年代前半には「くすりの富山」という立地環境を生かし、有力地場産業である配置家庭薬向け印刷包材の供給で独自の地位を築いた。現在、医薬品・化粧品パッケージ分野では、国内トップシェアを誇り、創業から140年を経た現在、さらなる発展を目指している。</li> <li>・富山県立高岡工芸高校は、明治27年富山県工芸学校として創設され、平成26年に120周年をむかえた工業・工芸の専門学科のみの伝統校である。学校付属の青井記念美術館は、全国的にも高校では極めて珍しい施設である。</li> <li>・富山県立高岡商業高校は、明治30年高岡市立高岡貿易商業高校として創立され、「商業教育」・「部活動」・「社会交流」で人づくりを教育目標としている学校である。模擬株式会社「りゅうりゅう」を運営し、高岡駅地下街に常設店舗「駅地下 TAKASHO SHOP りゅうりゅう」を経営している。</li> </ul>
29	3名	東京都	東京都立農芸高等学校、東京都立六郷工科高等学校、株式会社三津海製作所 今回の視察研修において、東京都立農芸高等学校の特色ある取り組みや東京都立六郷工科高等学校の先進技術を導入した学習内容、他にない技術に取り組まれている三津海製作所などのものづくりに対する考え方など、今回の視察研修における成果を学校現場に還元するとともに、今後、学校の進むべき方向性を考えるうえで参考にさせていただき、大阪における実業教育の充実に向け取り組んでいきたい。

30	3名	東京都 福島県	東京都立蔵前工業高等学校、東京都立橘高等学校、東京都立科学技術高等学校3校の訪問を通して、「ものづくり人材育成プログラム特定分野推進校」、「産業科を設置した、社会に貢献する人材育成を目指した学校」、「科学技術を学び、理系進学型専門学科を有する学校」の特色が理解できた。今後参考にしていきたい。会社見学では、半永久的に蓄光機能を有し、誘導装置として最適の素材ルナウェアの製造工場（コドモエナジー株式会社川内第一工場）、コンピュータ活用のリアルタイムCGシステム（株式会社テクノネット）、陸上競技大会運営システム等（マット株式会社）の最新の技術を見学することができた。
----	----	------------	--

(2) 内地産業見学研修会

視察・見学研究会一覧（昭和10年設立以来実施）

平成17	株式会社大阪証券取引所 国内産業教育の調査、見学、研修 富山県（高岡市、黒部市）における各学校及び企業の実態見学 富山県立高岡商業高等学校、富山県立高岡工芸高等学校、 (株)マイシティ、YKK (株)黒部事業所
18	大阪税関南港出張所 国内産業教育の調査、見学、研修 埼玉県（越谷市、深谷市、熊谷市）における各学校の実態見学 埼玉県立越谷総合技術高等学校、埼玉県立深谷商業高等学校 埼玉県立熊谷農業高等学校
19	大阪企業家ミュージアム 国内産業教育の調査、見学、研修 静岡県（静岡市、沼津市）で開催された高校生ものづくりコンテスト全国大会を見学 静岡県立沼津技術専門校、静岡工科自動車大学校、静岡県立沼津工業高等学校
20	第18回全国産業教育フェア大阪大会の開催のため視察・見学を取り止める。 国内産業教育の調査、見学、研修 東京都 東京都で開催された教育ソリューションフェアに参加し、また、都立橘高校における教育実践を研修
21	大阪市立科学館 国内産業教育の調査、見学、研修 神奈川県 東京電力横浜火力発電所、東京ガス環境エネルギー館、横浜開港150周年記念「開国博 Y150」を見学し、環境を重視した最新のものづくり技術や環境教育関連施設等を視察
22	関西電力南港発電所（エル・シティ・ナンコウ） 国内産業教育の調査、見学、研修 先進的な教育に取り組む学校、地域活性化の役割を担う観光とものづくり産業とのかかわりについて視察、及び企業の人材育成などについて研修
23	住友電気工業株式会社（大阪製作所） 国内産業教育の調査、見学、研修 長崎方面におけるものづくりを支える工学力教育の拠点形成の展開を学び、今後の本府産業教育に役立てる。また、企業や大学の人材育成について見聞を広め、進路指導の一助とする研修

24	<p>MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）</p> <p>国内産業教育の調査、見学、研修  岡山県の特徴ある専門高校を視察し、就職・進学にも力点を置いた教育方法等を学校経営に活かす。また、地域産業の活性化と新事業開拓にチャレンジする企業への支援を目的とする施設、支援方法等を視察し、府内産業教育の充実を図る研修</p>
25	<p>吉川化成株式会社</p> <p>国内産業教育の調査、見学、研修  福岡県の伝統校を視察し、就職・進学ともに素晴らしい指導が行われている。特に地域へ確かな人材を育成し輩出している。就職・進学ともに指導内容等学ぶべき点が多く、今後の学校経営に活かす。  北九州市は、産業の発展のために地域と企業が連携し、ものづくりに取り組んでいるだけでなく、環境問題やエネルギーの効率化にも力を入れている。このような施設や企業を見学して、産業教育の充実を図る研修</p>
26	<p>ダイキン工業株式会社</p> <p>国内産業教育の調査、見学、研修  東京都・静岡県における各学校を視察及び企業の展示館を見学  東京都立大田桜台高等学校、静岡県立掛川工業高等学校、富士通株式会社 川崎工場富士通テクノロジーホール、資生堂企業資料館を視察・見学し、本府の産業教育の充実を図る研修</p>
27	<p>江崎グリコ株式会社</p> <p>国内産業教育の調査、見学、研修  福岡県・熊本県の学校視察及び企業の見学と石炭産業科学館と炭坑跡の万田坑を見学  工業高校と地域企業間の連携により、インターンシップの実施内容等を理解し、また、企業においては石炭産業から化学産業に移る経緯が理解できた。本府の産業教育の充実を図る研修。</p>
28	<p>ハードロック工業株式会社</p> <p>国内産業教育の調査、見学、研修  富山県の学校視察及び企業の見学  富山県立高岡工芸高等学校、富山県立高岡商業高等学校、朝日印刷株式会社の見学  いづれの学校、企業も、地域の特性に合わせて発展した産業と100年を超える伝統と実績のある高校であり、その実践に触れることで、今後の大阪府の産業教育の充実を図る研修であった。</p>
29	<p>国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局</p> <p>国内産業教育の調査、見学、研修  東京都の学校視察及び企業の見学  東京都立農芸高等学校、東京都立六郷工科高等学校、株式会社三津海製作所の見学  文部科学省のある東京都立高等学校の2校においては、117年の歴史ある農芸高校の様子、六郷工科高校は平成9年に2校の工業高校と2校の定時制高校を統合され、平成16年に開校された。工業高校としては、全国初の単位制・全定併修制を実施している。中小企業の町大田区に三津海製作所があり真空ポンプのトップメーカーである。今回の見学研修は有意義な研修であった。</p>

30	株式会社エクセディ 国内産業教育の調査、見学、研修 東京都の学校視察及び福島県の工場見学研修 東京都立蔵前工業高等学校は、『専門家スペシャリスト』の育成指導に注力している、創立94年目を迎える伝統のある工業高校。東京都立橋高等学校は、工業学校と商業学校を統合したわが国初の産業科高校である。生きた英語力と使えるICT(情報通信技術)力の育成を重視した教育課程を編成している。東京都立科学技術高等学校は、実験や研究を通じて科学技術を学び、理系大学等への進学を目指す新しいタイプの進学型専門学科高校である。 コドモエナジー(株)は平成30年6月に、タイ北部チェンライ県タムルアン洞窟に閉じ込められていたサッカーチームの少年たちの救出作業の際に使用された蓄光建材「ルナウェア」の生産をしている会社である。
----	---

## 2 講演会や講習会の開催

その道の権威者を招へいして、後援会や講習会を開催しています。

特に講習会については、会社会員の会社・工場を利用することが多い。

### 講演会等の実施の状況(昭和10年設立以来実施)

(略敬称)

平成 17	「私が見る、これからの社会が求める人材、モノづくりのあり方」 株式会社西淀製作所 代表取締役 桂 監 一
	「生活とコンピュータ」 富士通株式会社コンサルティング事業本部 シニアマネージングコンサルタント 藤井 真 一 同 マネージングコンサルタント 村松 祐 子
18	「ロボットとひとづくり」 ヴイストン株式会社 代表取締役 大 和 信 夫
	「グローバル化時代におけるものづくりと人材育成」 NPO 法人 国際社会貢献センター 講師 横浜国立大学 青山学院大学 講師 元エジプト石油開発株式会社 常務取締役 岡 本 靖 彦
19	「“夢”のかけ橋」について 大鳴門橋・瀬戸大橋等の設計業務担当 明石海峡大橋・来島海峡大橋工事技術管理者 佐 岡 暖 也
	「ものづくりの昨日・今日・未来」 ヴイストン株式会社 代表取締役 大 和 信 夫
20	「人材力の飛躍的強化をめざして～社員教育の展開～」 ダイキン工業株式会社 人事本部 採用・育成グループ長 部長 山 田 智 彦
	「大阪の街文化で健全な社会を」 日本の観光カリスマ百選認定 天神橋筋三丁目商店街振興組合 理事長 土 居 年 樹



21	<p>“「やりました夢の実現！まいど1号」 自社経営に活かす衛星開発” 株式会社 大日電子 代表取締役 東大阪宇宙開発協同組合 副理事長 梶 本 日出夫</p> <p>“高い「キャリア高校生」への期待～就職難時代に弱気は禁物～” NPO 法人 経済教育研究会 理事長 元 株式会社 日刊工業新聞社 編集局長 大 蔦 勝 威</p>
22	<p>「“モノづくりからコトづくりへ” 中小企業の魅力」 関西大学社会学部 教授 大 西 正 曹</p> <p>「日本経済の現状と企業が求めるこれからの人材」 ジャーナリスト 鬼 塚 眞 子</p>
23	<p>「経済活動の現状と関西の活性化について」 経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 次長 伊 藤 哲 郎</p> <p>「安全・安心な情報管理について」 KDDI 株式会社 KDDI ケータイ教室 講師 大久保 輝 夫</p>
24	<p>「キャリア教育と職業人の育成」—国際比較の視点から— 関西福祉科学大学 教授 伊 藤 一 雄</p> <p>「実業高校生の社会人基礎力とコミュニケーション能力について」 株式会社ジュリアス 代表取締役 猪 原 雅 子</p>
25	<p>「OJT 教育におけるシステム技術者教育」 株式会社 創機システムズ 代表取締役 荻 本 健 二</p> <p>「物流とは」—MHS の重要度・必要性— (MHS material handling system) 株式会社ダイフク 元代表取締役副社長 大 西 忠</p>
26	<p>「異分野への挑戦」—超伝導材料から歯の絆創膏— 近畿大学 生物理工学部医用工学科 教授 本 津 茂 樹</p> <p>「今だから話せる大塚国際美術館創設裏ばなし」—西洋名画を10倍楽しむ法— みやび芸術文化アカデミー主宰・徳島文理大学 講師 平 田 雅 男</p>
27	<p>創立 80 周年記念事業「産業教育振興に関する記念講演会」 第 1 回「渋沢栄一と東洋紡」 東洋紡株式会社 相談役 津 村 準 二 (前大阪実業教育協会 会長)</p> <p>第 2 回「次世代バイオ固形エネルギー」—バイオコークスの利用技術の先端的取り組み— 近畿大学 バイオコークス研究所 教授・所長 井 田 民 男</p>
28	<p>「阪神大震災からの企業再生」～人に必要とされる会社をつくる～ 万協製薬株式会社 代表取締役社長 松 浦 信 男</p> <p>「ソニー生命の社会貢献活動 ～ライフプランニング授業～」 ソニー生命保険株式会社広報部 担当課長 濱 崎 祐 一</p>



28	第 38 回専門高等学校教員実技講習会 （本協会並びに岩通計測㈱） と共催 ※岩崎通信機㈱（現在）の組織変更のため中止 （近畿工業高等学校長協会）
29	第 39 回専門高等学校教員実技講習会 （本協会並びに岩崎通信機㈱） と共催 デジタルオシロスコープの原理と測定方法について 参加者 近畿各府県の専門高校専門学科の教員 18 名 会場 大阪府立今宮工科高等学校
30	第 40 回専門高等学校教員実技講習会 （本協会並びにダイキン工業㈱） と共催 空調機の基本と運転診断 参加者 近畿各府県の専門高校専門学科の教員 11 名 会場 ダイキン工業株式会社 大阪研修所

#### 4 研究会の座談会・懇談会並びにシンポジウムの開催

協会には、農業教育、工業教育、商業教育の3部会があり、各部会とも特に研究を要する問題のある場合には、関係者が相よって研究討論を重ね、また共通問題については3部会合同の会議を開く。また各種教育団体との共同主催による研究会の開催や助成も行う。

必要に応じて、座談会や懇談会並びにシンポジウムも開催する。

#### 5 座談会・懇談会・研究会並びにシンポジウムの実施状況（昭和11年度から平成11年度まで実施）

年度	座談会・懇談会	研究会・シンポジウム
平成元	産業教育振興に関するシンポジウム 「高等学校における進路指導の課題」について 企業の人事担当者と学校長との「座談会」	
2	産業教育振興に関するシンポジウム 「情報化の進展と産業教育」 企業の人事担当者と学校長との「座談会」	
3	産業教育振興に関するシンポジウム 「国際化時代の人材育成」 企業の人事担当者と学校長との「座談会」	
4	産業教育振興に関するシンポジウム 「産業教育の課題と展望」 —高度産業社会に求められる人材—	
5	産業教育振興に関するシンポジウム 「産業構造・職業構造の変革と職業教育」 —社会の変化に主体的に対応できる技術者の育成—	
6	産業教育振興に関するシンポジウム 「技術の進展と高校技術教育の在り方」 —スペシャリストの育成を旨として—	
7	産業教育振興に関するシンポジウム 「高度産業社会における人材育成」 —高校職業教育における意識・役割と生涯教育について—	
8	産業教育振興に関するシンポジウム 「高度産業社会に対応した産業教育の在り方」 —求められる資質とその陶冶—	
9	産業教育振興に関するシンポジウム 「21世紀を展望した産業教育」 —産業教育の未来像—	
11	産業教育振興に関するシンポジウム 「環境とエネルギー」	

#### 6 専門高等学校生徒の研究文・作文の募集、表彰

近時の技術革新により急速な進展を遂げつつある産業を支えるべき産業教育の健全な発展を期し、生徒の勉学意欲と実践力の向上及び産業教育に対する自覚の高揚に資する目的で実施。

(総会資料参照)

#### 7 建議・陳情・答申等

他の機関にもはかって、建議・陳情、ときには諮問に応じて答申も行なう。

- ア 専門高校における施設、設備基準の改訂について（文部科学大臣）
- イ 産業教育を中心とした後期中等教育の改善について（文部科学大臣、大阪府教育委員会）
- ウ 高等学校多様化の具体策と勤労青少年教育の改善について（文部科学省、大阪府）
- エ 産業教育振興予算対策（文部科学省、財務省、関係衆・参議院）
- オ 情報処理教育の推進、特に施設、設備の充実、その他の予算措置について（大阪府教委）
- カ 専門高校（農業・工業・商業・家庭・看護）卒業生の採用に関する陳情（大阪経済3団体）
- キ 高等学校新規卒業生の就職のための推せん及び選考開始の期日（大阪経済3団体・官庁）
- ク 大学入学者選抜における推薦入学制の採用・拡大について（近畿・国、公私立大学）
- ケ 「産業教育振興予算」に関する陳情（文部科学省、関係省庁、関係衆・参議院代表）
- コ 産業教育予算確保等産業教育振興に関する要望書（府内教育委員会・大阪府）
- サ 産業教育に関わる諮問等に対する意見具申や事業への協力
  - ・大阪府産業教育フェア
  - ・学校協議会

## 8 各種の助成と表彰

高等学校優良卒業生の表彰、教育研究団体の助成、専門高校生の優秀研究文・作文の表彰、学校教職員の視察見学会や講習会及び大阪府産業教育フェアに対する助成、あるいは、教職員の特別研究に対する助成も必要に応じて行っています。（総会資料参照）

## 9 全国産業教育振興連絡会議「大会」への参加

協議題 ア 産業教育振興中央会本年度事業計画について

- \*産業教育関係予算確保運動
- \*産業教育の改善振興に関する対策
- \*専門高校教員研究活動に関する事業
- \*専門高校生徒の研究活動奨励に関する事業
- \*海外産業教育事情視察派遣
- \*御下賜金記念事業 など

イ 各専門高等学校長協会関係

- \*専門教育の現況報告
- \*農業教育について
- \*工業教育について
- \*商業教育について

ウ 第28回全国産業教育フェア（山口大会）について

（総会資料参照）

## 10 教材映画の貸出しや斡旋

かつては、地方高校教員内地留学生の受入、同種事業に協力や後援、産業教育関係資料の印刷配布、もとめに応じて講師の斡旋、懸賞論文の募集等の事業も行なった。

### 3 会 則

(平成 22 年 5 月 13 日改正即日実施)

第 1 条 本会は大坂実業教育協会と称する。

第 2 条 本会の事務所は大坂市に置く。

第 3 条 本会は実業家・教育者・教育行政当事者との協力により実業教育の改善振興を図ることを目的とする。

第 4 条 本会はその目的を達成するため下記の事業を行なう。

1. 実業家と教育者と行政当事者との連絡協力を図るため諸般の会合を催すこと。
2. 工場・商店・農場等と実業教育者との連携を斡旋すること。
3. 教員に対する再教育に協力すること。
4. 教員の実務講習・実務見学並に実業家の学校視察等の催をすること。
5. 実業教育に関し、公私機関の諮問に答え又は意見を開申すること。
6. 実業教育に関し、各種の調査研究をすること。
7. その他必要と認める事業を行うこと。

第 5 条 本会は実業家・実業教育者及びその関係者で組織する。

第 6 条 会費は、学校会費は年額

生徒数 (1)	500 人未満		6,000 円
(2)	500 人以上	750 人未満	12,000 円
(3)	750 人以上	1,000 人未満	18,000 円
(4)	1,000 人以上	1,250 人未満	24,000 円
(5)	1,250 人以上		30,000 円
(6)	総合制は職業課程の生徒数、定時制は人数を半分		

会社会費および大学会費は 1 口 (30,000 円) 以上、個人会費は 1 口 (10,000 円) 以上、校長 (准校長を含む) 会費 (2,000 円) を毎年総会后に拠出するものとする。

第 7 条 会員総会は毎年 5 月に開き諸般の報告をし議案の承認を求める。但し必要あるときは臨時に開催する。

第 8 条 会員総会の議事は出席会員の過半数で決し可否同数のときは議長が決する。

第 9 条 本会は下記の役員を置き任期を 2 年とする。但し重任を妨げない。

1. 会 長 1 名
2. 副会長 若干名
3. 理事長 1 名
4. 理 事 若干名 (内 1 名を専務理事、及び常務理事 若干名とする)
5. 監 事 若干名
6. 幹 事 若干名

第 10 条 理事、監事、幹事は会員総会に於いて選挙し、会長、副会長、理事長、専務理事、常務理事は理事会に於いて互選する。

第 11 条 会長は本会を代表し、会員総会、理事会を招集し、その議長となる。

副会長は会長を補佐し理事長は会務を統理し、会長に事故あるときは之を代理し理事は重要な会務を審議し、専務理事、常務理事は、一般会務を執行し、監事は会務を監査し、

- 幹事は会長の旨を承けて会務を処弁する。
- 第 12 条 本会に書記若干名を置き会長之を任命又は囑託する。必要に応じ事務局長を置くことができる。
- 第 13 条 本会に顧問・名誉会長・相談役を置くことができ、理事会の決議により会長がこれを推せんする。
- 第 14 条 会長は必要に応じ特に委員会を設けることができる。
- 第 15 条 本会の事業を遂行するため下記の部会を設ける。  
工業教育部会  
商業教育部会  
農業教育部会
- 第 16 条 各部会に部会長を置き会長が之を委嘱する。
- 第 17 条 会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。
- 第 18 条 本会々則の改廃は会員総会の決議による。

## 4 役員名簿

### 顧問

大阪府知事		吉村洋文
大阪市長		松井一郎
大阪商工会議所	会頭	尾崎裕

### 名誉会長

住友電気工業株式会社	名誉顧問	川上哲郎
東洋紡株式会社	相談役	津村準二

### 会長

東洋紡株式会社	代表取締役会長	坂元龍三
---------	---------	------

### 理事長

住友電気工業株式会社	専務取締役	賀須井良有
------------	-------	-------

### 専務理事

大阪実業教育協会		中野靖弘
----------	--	------

### 常務理事

大阪ガス株式会社		竹口文敏
大阪工業大学		川田裕

### 理事

大阪府教育長		酒井隆行
大阪市教育長		山本晋次
日本製鉄株式会社		松岡弘明
サントリーホールディングス株式会社		鳥井信吾
住友化学株式会社		岩田圭一
株式会社住友倉庫		間嶋弘
パナソニック株式会社		丸尾英司



大阪電気通信大学  
近畿大学  
前専務理事  
元専務理事  
元専務理事  
元専務理事

大石利光  
藤原尚  
長谷川耕三  
東崎元宏  
久野祐滋  
西澤爽

監事

株式会社三井住友銀行  
大阪府立淀川工科高等学校

穂積一郎  
阿部政之

幹事

大阪府教育庁  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
大阪市教育委員会事務局  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
大阪府教育庁私学課  
同  
住友化学株式会社  
日本製鉄株式会社  
株式会社三井住友銀行  
住友電気工業株式会社

大久保宣明  
香月孝治  
真田誠  
山本勲  
森本克己  
野部緑  
田中宏樹  
寺本圭一  
綾野宏一  
湯浅和久  
小西基裕  
宇都直人  
関澤博之  
川崎俊己  
兼坂幸雄  
近藤未生  
和田文孝  
野口直幹  
山名博文  
村上英生  
若松浩

幹 事

大阪府立今宮工科高等学校	駒 井 知 一
大阪府立成城高等学校	後 藤 日出樹
大阪府立和泉総合高等学校	加 納 由 朗
大阪府立堺工科高等学校定時制	平 田 眞 二
大阪府立茨木工科高等学校定時制	小 川 寿 之
大阪市立住吉商業高等学校	杵 本 多佳志
大阪市立西高等学校	川 口 伊佐夫
大阪市立東淀工業高等学校	柴 原 信 彦
大阪市立第二工芸高等学校	藪 中 俊 彦
堺市立堺高等学校	谷 尾 益 明
興 國 高 等 学 校	草 島 葉 子
星 翔 高 等 学 校	辻 井 安 喜

部 会 長

農業部会

大阪府立園芸高等学校	真 鍋 政 明
------------	---------

工業部会

大阪府立茨木工科高等学校	久 和 人
--------------	-------

商業部会

大阪市立住吉商業高等学校	杵 本 多佳志
--------------	---------

## 5 会 員 名 簿 (アイウエオ順)

社 名	代 表 者 名	会 社 会 員	所 在 地
アートコーポレーション株式会社	寺 田 千代乃	574-0024	大東市泉町2丁目14番11号
岩崎通信機株式会社 西日本支店	西 川 暢	550-0005	西区西本町2丁目3番6号 山岡ビル1階
大阪ガス株式会社	竹 口 文 敏	541-0046	中央区平野町4丁目1番2号
一般社団法人 大阪空調和衛生工業協会	古 新 亮 英	541-0052	中央区安土町1丁目7番21号 新トヤマビル3階
一般社団法人 大阪電業協会	前 田 幸 一	530-0047	北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル
大阪府板金工業組合	岩 間 辰 夫	578-0935	東大阪市若江東町1丁目1番44号
関東物産株式会社	山 元 正 一	550-0002	西区江戸堀1丁目26番20号
株式会社 きんでん	前 田 幸 一	531-0074	北区本庄東2丁目3番41号
サントリーホールディングス株式会社	新 浪 剛 史	530-0004	北区堂島浜2丁目1番40号
株式会社 伸興	熊 崎 正	551-0021	大正区南恩加島5丁目8番84号
実教出版株式会社	戸 塚 雄 武	102-0076	東京都千代田区五番町5番地
日本製鉄株式会社	松 岡 弘 明	541-0041	中央区北浜4丁目5番33号
住友化学株式会社	野 口 直 幹	541-0041	中央区北浜4丁目5番33号
株式会社 住友倉庫	小 野 孝 則	530-0005	北区中之島3丁目2番18号 住友中之島ビル
住友電気工業株式会社	賀須井 良 有	541-0041	中央区北浜4丁目5番33号
ダイキン工業株式会社	十 河 政 則	530-0015	北区中崎西2丁目4番1号 梅田センタービル
東洋紡株式会社	坂 元 龍 三	530-0004	北区堂島浜2丁目2番8号
ニッペトレーディング株式会社	福 田 雅 人	531-8511	大阪市北区大淀北2-1-2
パナソニック株式会社	津 賀 一 宏	571-0050	門真市大字門真1006
株式会社三井住友銀行	森 川 敏 雄	541-0041	中央区北浜4丁目6番5号
ヴィストン株式会社	大 和 信 夫	555-0012	西淀川区御幣島2丁目15番28号
YAMANO 株式会社	平 瀬 良 之	547-0014	平野区長吉川辺3丁目8番25号
株式会社 グルメ杵屋	椋 本 充 士	559-8561	住之江区北加賀屋3丁目4番7号

◎ お願い 人事異動などにより代表者名に変更が生じた場合にはご連絡をお願いいたします。

## 大 学 会 員

大 学 名	代表者名	所 在 地
大 阪 工 業 大 学	西 村 泰 志	535-8585 大阪市旭区大宮 5-16-1
大 阪 芸 術 大 学	塚 本 邦 彦	585-8555 南河内郡河南町東山 469
大 阪 産 業 大 学	中 村 康 範	574-8530 大東市中垣内 3-1-1
大 阪 電 気 通 信 大 学	大 石 利 光	572-8530 寝屋川市初町 18-8
近 畿 大 学	細 井 美 彦	577-8502 東大阪市小若江 3-4-1
摂 南 大 学	八 木 紀 一 郎	572-8508 寝屋川市池田中町 17-8
大 阪 商 業 大 学	谷 岡 一 郎	577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10
大 阪 国 際 大 学	宮 本 郁 夫	570-8555 守口市藤田町 6-21-57
大 阪 経 済 法 科 大 学	田 畑 理 一	581-8511 八尾市楽音寺 6-10
帝 塚 山 学 院 大 学	津 田 謹 輔	589-8585 大阪狭山市今熊 2-1823
関 西 大 学	芝 井 敬 司	564-8680 吹田市山手町 3-3-35

## 学 校 会 員 (高等学校)

学 校 名	校長氏名	所 在 地
西 野 田 工 科	中 井 宏 典	553-0007 福島区大開 2-17-62
同 定 時 制	田 尻 誠	" "
淀 川 工 科	阿 部 政 之	535-0001 旭区太子橋 3-1-32
今 宮 工 科	駒 井 知 一	557-0024 西成区出城 1-1-6
同 定 時 制	渡 邊 幸 彦	" "
成 城	後 藤 日 出 樹	536-0021 城東区諏訪 3-11-41
同 定 時 制	麻 野 克 己	" "
東 住 吉 総 合	北 村 洋 介	547-0026 平野区喜連西 2-11-66
茨 木 工 科	久 和 人	567-0031 茨木市春日 5-6-41
同 定 時 制	小 川 寿 之	" "
城 東 工 科	渡 邊 健 一	578-0976 東大阪市西鴻池町 2-5-33
布 施 工 科	森 村 利 和	577-0805 東大阪市宝持 3-7-5
藤 井 寺 工 科	木 下 隆	583-0021 藤井寺市御舟町 10-1
同 定 時 制	原 孝 道	" "
堺 工 科	中 田 浩 史	590-0801 堺市堺区大仙中町 12-1
同 定 時 制	平 田 眞 二	" "
和 泉 総 合	加 納 由 朗	594-0082 和泉市富秋町 1-14-4
同 定 時 制	伊 藤 雅 司	" "
佐 野 工 科	山 本 好 男	598-0012 泉佐野市高松東 1-3-50
同 定 時 制	雑 賀 文 彦	" "
園 芸	真 鍋 政 明	563-0037 池田市八王寺 2-5-1
農 芸	寺 岡 正 裕	587-0051 堺市美原区北余部 595-1
能 勢	向 井 幸 一	563-0122 豊能郡能勢町上田尻 580
枚 岡 樟 風	中 山 新 一	579-8036 東大阪市鷹殿町 18-1
貝 塚 原 賢 司	島 原 賢 司	597-0072 貝塚市畠中 1-1-1
港 南 造 形	仲 谷 浩	559-0031 住之江区南港東 2-5-72

都島工業	柘原康友	534-0015	都島区善源寺町	1-5-64
泉尾工業	新宅博生	551-0031	大正区泉尾	5-16-7
東淀工業	柴原信彦	532-0031	淀川区加島	1-52-81
生野工業	岸田博文	544-0025	生野区生野東	2-3-66
工芸	橋本嘉平	545-0004	阿倍野区文の里	1-7-2
都島第二工業	須内克典	534-0015	都島区善源寺町	1-5-64
第二工芸	藪中俊彦	545-0004	阿倍野区文の里	1-7-2
大阪ビジネスフロンティア	平寿之	543-0042	天王寺区烏ヶ辻	2-9-26
淀商業	上山陽司	555-0024	西淀川区野里	3-3-15
鶴見商業	大東正之	538-0054	鶴見区緑	2-10-9
住吉商業	杵本多佳志	559-0013	住之江区御崎	7-12-55
西	川口伊佐夫	550-0014	西区北堀江	4-7-1
扇町総合	板垣秀和	530-0037	北区松ヶ枝町	1-38
咲くやこの花	角芳美	554-0012	此花区西九条	6-1-44
中央	長谷川義高	540-0035	中央区釣鐘町	1-1-5
堺市立堺	谷尾益明	590-0025	堺市堺区向陵東町	1-10-1
同定時制	大橋幸一	"	"	"
岸和田市立産業	楠戸啓之	596-0045	岸和田市別所町	3-33-1
東大阪市立日新	日比野功	579-8003	東大阪市日下町	7-9-11
昇陽	竹下健治	554-0011	此花区朝日	1-1-9
興國	草島葉子	543-0045	天王寺区寺田町	1-4-26
大商学園	奥野正巳	561-0846	豊中市利倉東	1-2-1
大阪電気通信大学	廣谷明	570-0039	守口市橋波西之町	1-5-18
科学技術学園・大阪分室	東龍太郎	564-0052	吹田市広芝町	10-25
星翔台	辻井安喜	566-0022	摂津市三島	3-5-36
向陽	和泉秀雄	567-0051	茨木市宿久庄	7-20-1
長尾	竹中均	573-0163	枚方市長尾元町	2-29-27

## 個 人 会 員

秋澤亮一	秋山謹三	石川俊一	石橋善晴
市田淳	植田篤司	延與恒好	大内維人
大音博司	大倉雅之	大澤宣彦	大西敏朗
岡田千明	小河原康雄	押井泰子	小田旨計
小野昌弘	上條藤夫	上出満	川端等
寛座純一	北川賢一	北之防勉	久野祐滋
桑田芳治	乗根美津子	古賀史郎	小島成起
小南鉄雄	小西正晃	近藤正	杉田晃彦
高嶋保	高瀬周作	高橋一夫	竹田剛
竹見徳一郎	種橋和憲	玉岡照宏	田村博司
土橋茂紀	筒井良惠	田孝一	東崎元宏
中野靖弘	西澤爽	橋本三千穂	長谷川耕三
羽田澄	福岡優	藤田智一	前田親良

松川貴汎  
山内茂幸  
吉田常行

松下弘文  
山田幸男  
吉田直人

丸岡俊之  
山田啓次  
吉田豊治

森本淳  
山野善彦